

【水性 柔軟・透湿タイプ】 超耐候・超低汚染型変性無機塗料

ダイヤスーパーセランフレックス 

【水性 柔軟・透湿タイプ】 超耐候・超低汚染型変性無機塗料

ダイヤスーパーセランフレックス



2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは  
日本シーカ株式会社に統合され、新たにシーカ・ジャパン株式会社  
としてスタートいたしました。

製品・工法に関するお問い合わせはホームページのブランドサイト  
<https://www.dia-dyflex.jp/>  
にてご確認のうえ各地域のオフィスまでお願い申し上げます。



シーカ・ジャパン株式会社

東京都港区元赤坂1-2-7 赤坂Kタワー7F TEL. 03-6434-7291

BUILDING TRUST





## ダイヤスーパーセランフレックス の新技術

サイディングやALCパネルが多い戸建住宅の改修にはさらなる柔軟性が求められます。

「スーパーセランフレックス」はスーパーセランシリーズにさらに柔軟性を与えました。

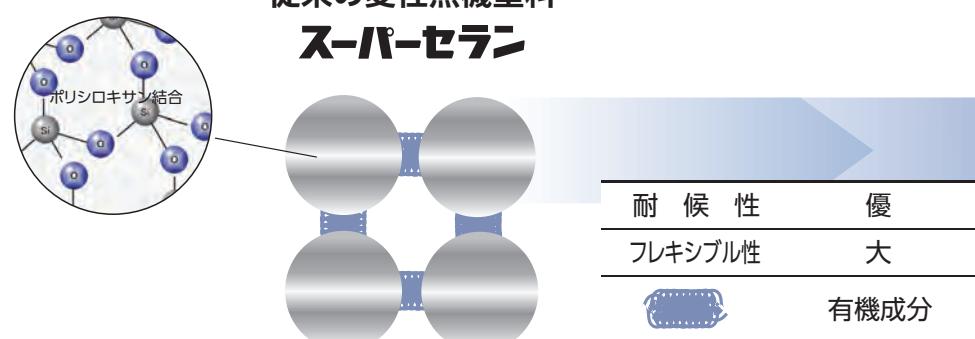
### 従来のスーパーセランシリーズ

有機成分で無機の短所をカバーすることにより無機の特長を最大限発揮させることに成功しました。

無機	ダイヤスーパーセランシリーズの特性	有機
発色不良、色がくすむ	鮮やかな色の調色が可能	鮮やかな色も出せる
硬い	下地に対応できる柔軟性とガラス並みの硬度	柔らかく、割れにくい
劣化しにくい	紫外線に強く従来のフッ素樹脂塗料よりも耐候性に優れる	劣化しやすい
汚れにくい	汚れにくく、長期間美しさを維持する	汚れやすい
燃えない	燃えにくい	燃えやすい

### 従来のスーパーセランの仕組み

土木分野で培った技術を生かし生み出された塗料

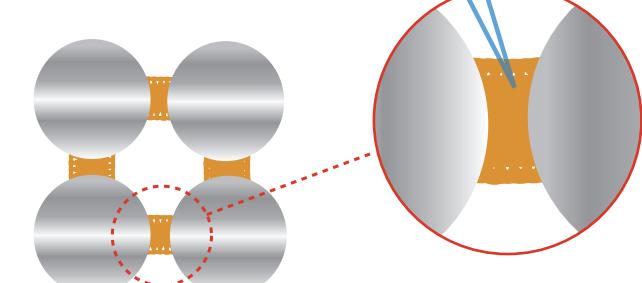


フレキシブル性を  
大幅に  
UP!  
さらなる  
柔軟性樹脂を  
使いたい!

無機成分を  
減らさずに  
実現しました。

耐候性 優  
フレキシブル性 さらに大  
有機成分

変性無機塗料  
**スーパーセランフレックス**



※無機塗料とは ポリシリコンに代表される無機質ポリマーをバインダーとする塗料

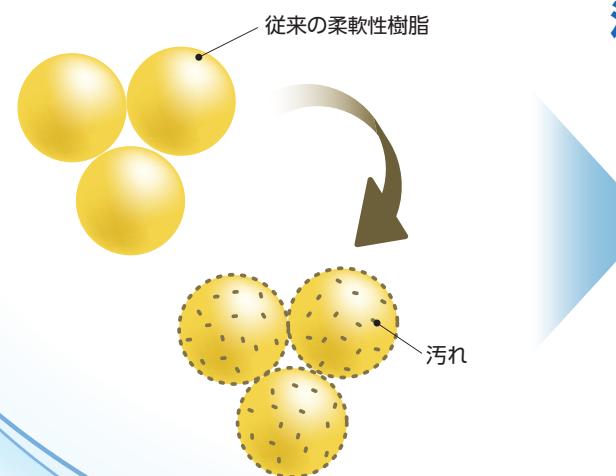
## 新技術

### 無機複合コアシェル構造

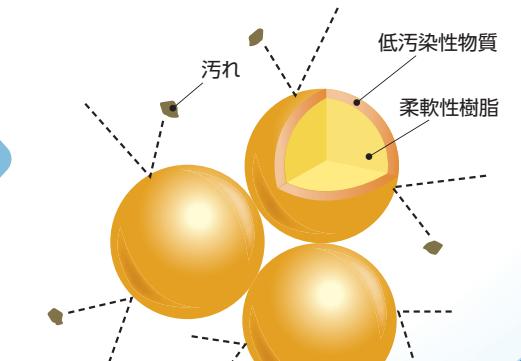
柔軟性 ↔ 超低汚染性

従来は『柔軟性』と『低汚染性』は相反する性能でしたが  
**無機複合コアシェル構造**により機能兼備を実現しました。

柔軟性が高い樹脂は  
汚れが付着しやすい



柔軟性樹脂の表面を低汚染性物質で  
コーティングすることにより親水性が高まり  
汚れが付着しにくく除去されやすい



# ダイヤスーパーセランフレックス 特長

様々な特長により塗替え時の美しさを永く保ちます。

特長  
1

## 超耐候性

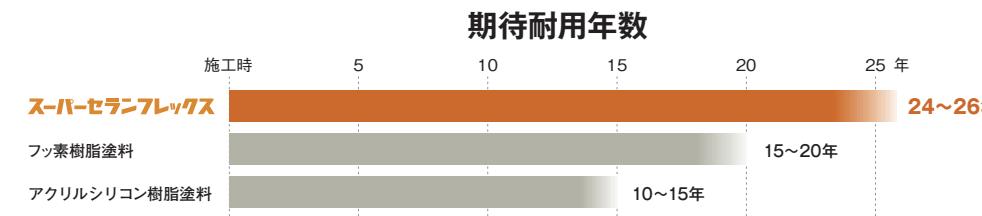
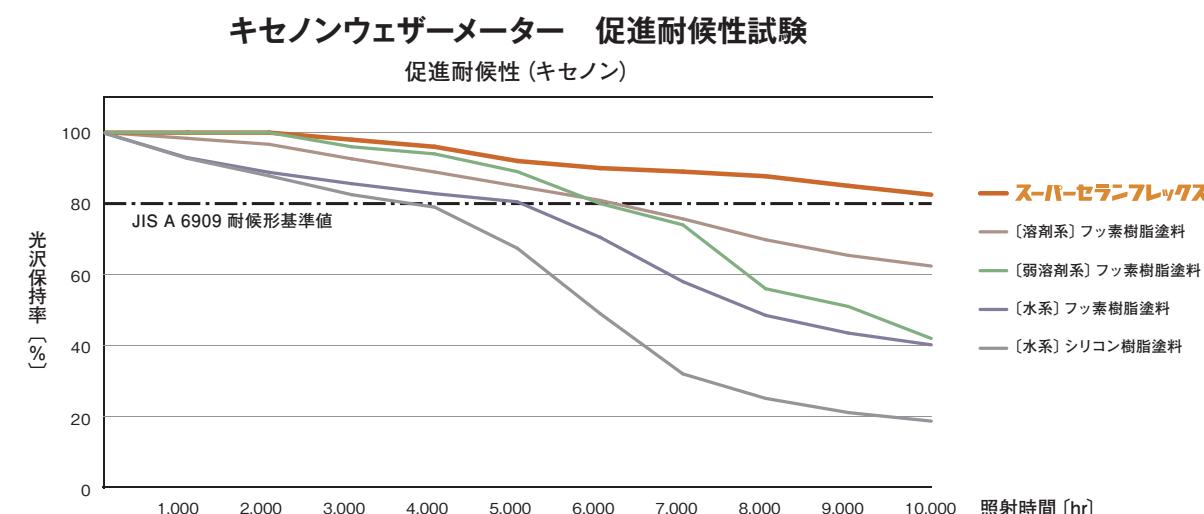
変性無機塗料の持つ最大の特長、フッ素樹脂塗料をしのぐ耐候性が建物の美観を長期にわたり維持し、保護します。

蓄熱性の高い部材は塗料の劣化を早めますので特に耐候性の高い塗料を推奨します。

耐候性の高い塗料は、塗料が持つ様々な機能の低下を抑制します。

Point!

窯業系サイディングやALCパネルなどの蓄熱性の高い部材を用いた建物の塗替えに最適です。



【期待耐用年数について】  
塗膜は紫外線や熱、風雨等の劣化因子により段階的に性能が低下していきます。一般的には、汚れや変色に始まり、その後、表面劣化が進行し、チョーキング（白亜化）が発生、さらに進行するとひび割れや剥離等が発生します。期待耐用年数は、標準的な環境（地域や部位、部材の条件を除く）において、塗膜の持つ下地保護機能が低下する時点までの期間（次回の改修を行うに至るまでの標準的な年数）の目安として設定しております。よって、気象条件の厳しい地域や、天端や斜壁などの部位、蓄熱性の高いボード類など環境条件の厳しい面に施工された塗膜は目安とされた期待耐用年数よりは早期の劣化が予測されます。

当社は期待耐用年数を設定するにあたり、JISに定める規格値 光沢保持率80%を参考にはしておりますが、その基準が下地保護機能が低下する時点とは考えておりません。実際の建物では、チョーキングが進行しひび割れや剥離が広範囲に発生する手前が下地保護機能の低下時点と考えられております。当社は促進試験データによる塗膜劣化の傾向と実際におけるそれ以外の劣化因子を考慮して、蓄積されたデータより保護機能の低下時点を推測し、期待耐用年数を設定しております。

特長  
2

## 柔軟性

柔軟性に優れた塗膜によりシーリング上に施工した場合のひび割れリスクを軽減します。

柔らかいシーリングの上に塗られた塗膜は下地の動きによりひび割れが発生しやすい状況にあります。

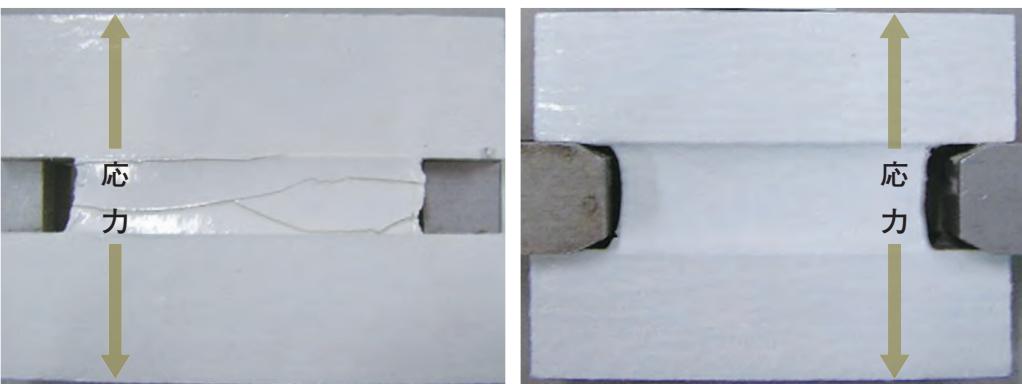
ダイヤスーパーセランフレックスはダイヤスーパー丹セイ (JIS A 6021 建築用塗膜防水材) の上塗材として適用できるほど、柔軟性に優れた塗膜が特長です。

この特長によりシーリング上に施工した場合、塗膜のひび割れを軽減することができます。

Point!

目地シーリングの多い窯業系サイディングやALCパネルなどを用いた建物の塗替えに最適です。

### 伸長時ひび割れ試験



### 従来の変性無機塗料

15%伸長時に、ひび割れが発生

### ス-パーセランフレックス

40%伸長時も、ひび割れが発生しない

※弊社シーリング材による試験

# ダイヤスーパーセランフレックス 特長

様々な特長により塗替え時の美しさを永く保ちます。

特長  
3

## 超低汚染性

親水性の高い無機の塗膜が汚染物質を寄せ付けず、雨水で汚れを落とす特性を持ちます。

無機の塗膜により、親水性の向上（雨水で汚れが落ちやすくなる）と帯電性の低下（静電気を帯びにくくすることで埃を引き寄せにくくする）を実現しました。

Point!

柔軟型の塗料でありながら従来の変性無機塗料と同レベルの超低汚染性を実現しました。



特長  
5

## 防カビ・防藻性

防カビ・防藻性を有し、カビや藻の発生を抑制します。

さらに

『下地調整材』との組み合わせで  
新たな **機能を追加** できます。

部材: **窯業系サイディング** の塗替えにおすすめの工法

カチオン形水系エポキシシーラー  
『ダイヤワイドシーラー』との組み合わせ

追加機能 **サイディング付着性**

特長  
4

## 透湿性

各種上塗材の中では最高クラスの透湿性を発揮します。

透湿性の高い塗料は、雨などの水滴は通さずに、水蒸気を逃がす性質を持ちます。この性質により、熱膨張の原因となる水分を効率的に排出することができます。

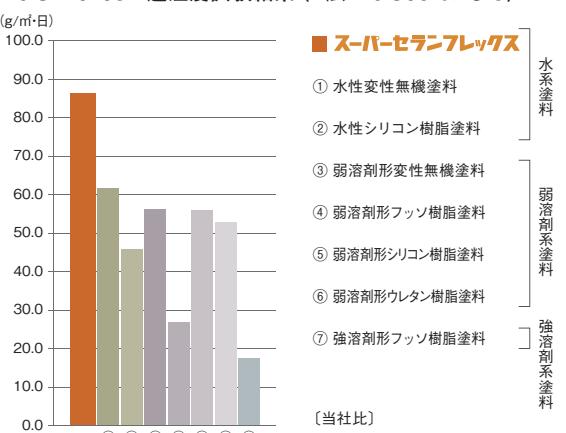
※ 水滴 … 直径100~300μm 水蒸気 … 直径0.0004μm

Point!

窯業系サイディングやALCパネルなどの蓄熱性の高い部材を用いた建物の塗替えに最適です。



JIS Z 0208 透湿度試験結果 (A法: 25°C 90%による)



特長  
6

## 旧塗膜適性

各種下地調整材を使用することにより、幅広い下地適性を発揮します。

部材: **ALC** の塗替えにおすすめの工法

無機透湿微弾性フィラー  
『ダイヤセラ・トーシップラス』との組み合わせ

促進機能 **透湿性**

部材: **RC・木造** の塗替えにおすすめの工法

防水形弾性フィラー  
『ダイヤアクレスフィラーダンセイ』との組み合わせ

追加機能 **防水性**

# ダイヤスープーセランフレックス 標準工程

## 標準仕様

工程	製品名	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工器具
					工程内	工程間	
1 素地調整	【新築】各下地に対して、標準仕様書に基づいた処置を行って下さい。 【改修】各改修工事仕様に基づいて、劣化部分のケレン、補修、汚れの除去などを行って下さい。						
2 下塗材	ダイヤワイドシーラー 無希釈	15kg	0.1~0.15kg/m <sup>2</sup> 100~150m <sup>2</sup> /缶	1	—	2時間以上	中毛ローラー 刷毛、エアレス
3 上塗材	ダイヤスープーセランフレックス A液 B液 清 水 刷毛・ローラー エアレス	14kg 1kg 0~1.0リットル 0.8~1.6リットル	0.2~0.3kg/m <sup>2</sup> 50~75m <sup>2</sup> /セット	2	2時間以上	—	中毛ローラー 刷毛、エアレス

※乾燥時間は、標準状態(23°C、50%RH)での時間を示します。  
※シリコン、フッソ樹脂塗料、無機塗料、光触媒などの下地は別途お問い合わせ下さい。  
※既存塗膜の形状や素材、塗装方法、環境などによって所要量が増減することがあります。

## 標準仕様【半艶】

工程	製品名	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工器具
					工程内	工程間	
1 素地調整	【新築】各下地に対して、標準仕様書に基づいた処置を行って下さい。 【改修】各改修工事仕様に基づいて、劣化部分のケレン、補修、汚れの除去などを行って下さい。						
2 下塗材	ダイヤワイドシーラー 無希釈	15kg	0.1~0.15kg/m <sup>2</sup> 100~150m <sup>2</sup> /缶	1	—	2時間以上	中毛ローラー 刷毛、エアレス
3 上塗材	ダイヤスープーセランフレックス 半艶 A液 B液 清 水 刷毛・ローラー エアレス	14kg 1kg 0~1.0リットル 0.8~1.2リットル	0.2~0.3kg/m <sup>2</sup> 50~75m <sup>2</sup> /セット	2	2時間以上	—	中毛ローラー 刷毛、エアレス

※乾燥時間は、標準状態(23°C、50%RH)での時間を示します。  
※シリコン、フッソ樹脂塗料、無機塗料、光触媒などの下地は別途お問い合わせ下さい。  
※既存塗膜の形状や素材、塗装方法、環境などによって所要量が増減することがあります。

※「ダイヤスープーセランフレックス」と「ダイヤスープーセランフレックス 半艶」は、  
希釈割合が異なりますのでご注意下さい。

## 塗替え仕様(塗業系サイディング下地 推奨仕様)

工程	製品名	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工器具
					工程内	工程間	
1 素地調整	各改修工事仕様に基づいた処置を行って下さい。						
2 下塗材	ダイヤワイドシーラー 無希釈	15kg	0.1~0.15kg/m <sup>2</sup> 100~150m <sup>2</sup> /缶	1	—	2時間以上	中毛ローラー 刷毛、エアレス
3 上塗材	ダイヤスープーセランフレックス A液 B液 清 水 刷毛・ローラー エアレス	14kg 1kg 0~1.0リットル 0.8~1.6リットル	0.25~0.35kg/m <sup>2</sup> 43~60m <sup>2</sup> /セット	2	2時間以上	—	中毛ローラー 刷毛、エアレス

※乾燥時間は、標準状態(23°C、50%RH)での時間を示します。  
※シリコン、フッソ樹脂塗料、無機塗料、光触媒などの下地は別途お問い合わせ下さい。  
※既存塗膜の形状や素材、塗装方法、環境などによって所要量が増減することがあります。

## 可使時間

気温	可使時間	塗装間隔時間(工程内)
5~15°C	10時間以内	4時間~7日
15~25°C	8時間以内	2時間~7日
25~35°C	6時間以内	2時間~7日

## 適用下地

### ●コンクリート面 ●モルタル面 ●ALC面

### ●塗業系サイディングボード面及び各種塗膜面

〔シリコン・フッソ樹脂塗料、無機塗料、光触媒などの下地は別途お問い合わせ下さい。〕

## 塗替え仕様(ALC下地 推奨仕様)

工程	製品名	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工器具
					工程内	工程間	
1 素地調整	各改修工事仕様に基づいて、劣化部分のケレン、補修、汚れの除去などを行って下さい。						
2 下塗材	ダイヤセラ・トーシツプラス 清 水	16kg 1.6~2.4リットル	0.3~0.5kg/m <sup>2</sup> 32~53m <sup>2</sup> /缶	1	—	5時間以上	中毛ローラー
3 上塗材	ダイヤセラ・トーシツプラス 清 水	16kg 0.5~0.8リットル	0.6~0.7kg/m <sup>2</sup> 22~26m <sup>2</sup> /缶	1	—	16時間以上	多孔質ローラー

※乾燥時間は、標準状態(23°C、50%RH)での時間を示します。  
※既存塗膜の形状や素材、塗装方法、環境などによって所要量が増減することがあります。

※シリコン、フッソ樹脂塗料、無機塗料、光触媒などの下地は別途お問い合わせ下さい。

※既存塗膜の劣化が著しい場合やセメント系下地の場合は、ダイヤガンコシーラーマイルドまたはダイヤワイドシーラーを塗布して下さい。

## 塗替え仕様(コンクリート・モルタル下地 推奨仕様)

工程	製品名	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工器具
					工程内	工程間	
1 素地調整	各改修工事仕様に基づいて、劣化部分のケレン、補修、汚れの除去などを行って下さい。						
2 下塗材	ダイヤアクリスフィラーダンセイ 清 水	16kg 0.8~1.6リットル	0.3~0.5kg/m <sup>2</sup> 32~53m <sup>2</sup> /缶	1	—	16時間以上	中毛ローラー
3 上塗材	ダイヤアクリスフィラーダンセイ 清 水	16kg 0.6~1.0リットル	0.8~1.0kg/m <sup>2</sup> 16~20m <sup>2</sup> /缶	1	—	16時間以上	多孔質ローラー

※乾燥時間は、標準状態(23°C、50%RH)での時間を示します。  
※既存塗膜の形状や素材、塗装方法、環境などによって所要量が増減することがあります。

※シリコン、フッソ樹脂塗料、無機塗料、光触媒などの下地は別途お問い合わせ下さい。

※既存塗膜の劣化が著しい場合やセメント系下地の場合は、ダイヤガンコシーラーマイルドまたはダイヤワイドシーラーを塗布して下さい。

※「ダイヤアクリスフィラーダンセイ」には防水形複層塗材仕様がございます。別途お問い合わせ下さい。

## 施工・保管上の注意点

### 【塗装面の調整(新設)】

①素地に付着している塵、汚れ、油脂類、レインズ等を完全に除去して下さい。  
②セメント系下地は、表面の含水率10%以下( $\text{pH}10$ 以下)になるまで放置して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥期間は、夏期で1週間、冬期で2週間以上必要です。コンクリート下地は、夏期で2週間、冬期3週間に亘り乾燥が要ります。

③雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。

④PCバブル等の現象で、現象を防ぐ場合は、洗浄・脱脂等の工程を行って下さい。

⑤1回塗装、木工漆、破損漆等の不純物を除いてから施工して下さい。

⑥下塗材の吸込口には、色や形のバラ発生する場合があります。

⑦2回塗装の上塗材を混ぜる際は、容器の蓋をしっかりと閉めてから施工して下さい。

⑧既存塗膜の劣化が著しい場合は、シート養生等で保護してから施工して下さい。

⑨既存塗膜の劣化が著しい場合は、低汚染性がより優れています。

⑩既存塗膜の劣化が著しい場合は、上塗材が下塗材と混ざり、低汚染性が発現しないことがあります。

⑪既存塗膜の劣化が著しい場合は、上塗材が下塗材と混ざり、低汚染性が発現しないことがあります。

⑫既存塗膜の劣化が著しい場合は、上塗材が下塗材と混ざり、低汚染性が発現しないことがあります。

⑬既存塗膜の劣化が著しい場合は、上塗材が下塗材と混ざり、低汚染性が発現しないことがあります。

⑭既存塗膜の劣化が著しい場合は、上塗材が下塗材と混ざり、低汚染性が発現しないことがあります。

⑮既存塗膜の劣化が著しい場合は、上塗材が下塗材と混ざり、低汚染性が発現しないことがあります。

⑯既存塗膜の劣化が著しい場合は、上塗材が下塗材と混ざり、低汚染性が発現しないことがあります。

⑰既存塗膜の劣化が著しい場合は、上塗材が下塗材と混ざり、低汚染性が発現しないことがあります。

⑱既存塗膜の劣化が著しい場合は、上塗材が下塗材と混ざり、低汚染性が発現しないことがあります。

⑲既存塗膜の劣化が著しい場合は、上塗材が下塗材と混ざり、低汚染性が発現しないことがあります。

⑳既存塗膜の劣化が著しい場合は、上塗材が下